



第4章

参考資料

- 1 SDGsの17の目標と単位施策との関連性
 - 2 重要業績評価指標(KPI)・まちづくり指標・成果指標算出方法
 - 3 策定体制
 - 4 策定経過
 - 5 策定における市民参画
 - 6 総合計画審議会
- 



2 | 重要業績評価指標 (KPI)・まちづくり

指標・成果指標算出方法

| 分野 | めざすまちの姿 | KPI/ まちづくり指標/ 成果指標 | 主観/ 客観 | 単位施策 | 指標名 | | |
|------------|--|--------------------------------------|------------|------|---|-----------------------------|------------------------------|
| | (まちの未来像) 未来へつなぐ みんなでつくる しあわせのまち とよあけ | | 主観 | | 幸福度 | | |
| 育み・学び | 戦略1 こどもの育ちと学び 創生プロジェクト | KPI1 | 主観 | | こどもが心豊かに育ち、子育て世代が住み続けられるまちだと思ふ市民の割合 | | |
| | | KPI2 | 主観 | | 多様性を尊重した学びの場が広がり、子どもたちが一人残らず心満たされるまちだと思ふ市民の割合 | | |
| | | KPI3 | 主観 | | 自分のことが好きな子どもの割合 | | |
| | | KPI4 | 客観 | | 0～14歳の子どもの数 | | |
| | 1 | こどもが心豊かに育ち、子育て世代が住み続けられるまち | まちづくり指標 1 | 主観 | | 子育てしやすいまちだと思ふ市民の割合 | |
| | | | まちづくり指標 2 | 主観 | | 子育て支援・補助が充実していると思ふ市民の割合 | |
| | | | 成果指標 1-1-1 | 主観 | 1-1 | こども支援 | 「こどもの権利」が十分に尊重されていると思ふ市民の割合 |
| | | | 成果指標 1-2-1 | 主観 | 1-2 | 子育て支援 | 子育ての悩みなど、相談する場を知っている市民の割合 |
| | | | 成果指標 1-3-1 | 客観 | 1-3 | 保育 | 待機児童数 (潜在的待機児童数を含む) |
| | 2 | 多様性を尊重した学びの場が広がり、子どもたちが一人残らず心満たされるまち | まちづくり指標 3 | 主観 | | 自分の良いところを知っている子どもの割合 | |
| | | | まちづくり指標 4 | 主観 | | 自分の好きなことを見つけて取り組んでいる子どもの割合 | |
| | | | まちづくり指標 5 | 主観 | | 教室や体育館は使いやすい居心地が良いと思ふ子どもの割合 | |
| | | | 成果指標 2-1-1 | 主観 | 2-1 | 学校教育 | 学ぶことが楽しいと思ふ子どもの割合 |
| | | | 成果指標 2-1-2 | 主観 | 2-1 | 学校教育 | 前よりも勉強や運動ができるようになったと思ふ子どもの割合 |
| 成果指標 2-1-3 | | | 主観 | 2-1 | 学校教育 | 給食の時間が楽しいと思ふ子どもの割合 | |
| 成果指標 2-2-1 | | | 主観 | 2-2 | 教育施設 | 教育環境が整っていると思ふ市民の割合 | |

| 算出方法 | 単位 | 現状値 (2024年度) | めざそう値 (2031年度) | 方向性 |
|---|----|-----------------|-------------------|-----|
| 市民アンケート「あなたはどの程度幸せですか」(11段階)という設問の平均点 | 点 | 6.77 | 6.77以上 | ↗ |
| 市民アンケート「子どもが心豊かに育ち、子育て世代が住み続けられるまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 73.3 | 78.8 | ↗ |
| 市民アンケート「多様性を尊重した学びの場が広がり、子どもたちが一人残らず心満たされるまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 45.1 | 57.3 | ↗ |
| 子どもアンケート「自分のことが好きですか」で「好き」「どちらかという」と好き」と回答した子どもの割合 | % | 74.4 | 80.8 | ↗ |
| 10.1時点の0～14歳の子どもの数(とよあけの統計) | 人 | 8,250 | 8,064 | ↘※ |
| 市民アンケートで18歳以下の子どもがいる方のうち、「子育てしやすいまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合 | % | 69.7 | 74.6 | ↗ |
| 市民アンケートで18歳以下の子どもがいる方のうち、「子育て支援・補助が充実している」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合 | % | 54.2 | 61.6 | ↗ |
| 市民アンケートで18歳以下の子どもがいる方のうち、「子どもの権利」が十分に尊重されている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合 | % | 68.4 | 76.1 | ↗ |
| 市民アンケートで18歳以下の子どもがいる方のうち、「子育ての悩みなど、相談する場を知っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合 | % | 62.1 | 68.3 | ↗ |
| 入所調整後の年度当初の待機児童数 | 人 | 85 | 0 | ↘ |
| 子どもアンケート「自分には、よいところがあると思いますか」で「思う」「どちらかという」と思う」と回答した子どもの割合 | % | 82.3 | 86.7 | ↗ |
| 子どもアンケート「自分の好きなことを見つけて取り組むことができますか」で「できている」「どちらかという」とできている」と回答した子どもの割合 | % | 89.2 | 91.9 | ↗ |
| 子どもアンケート「教室や体育館は使いやすい居心地が良いと思いますか」で「思う」「どちらかという」と思う」と回答した子どもの割合 | % | 85.4 | 89.1 | ↗ |
| 子どもアンケート「勉強や習い事など、学ぶことが楽しいですか」で「楽しい」「どちらかという」と楽しい」と回答した子どもの割合 | % | 76.4 | 82.3 | ↗ |
| 子どもアンケート「前よりも勉強や運動ができるようになったと思いますか」で「思う」「どちらかという」と思う」と回答した子どもの割合 | % | 86.8 | 90.1 | ↗ |
| 子どもアンケート「給食の時間が楽しいと思いますか」で「思う」「どちらかという」と思う」と回答した子どもの割合 | % | 90.6 | 93.0 | ↗ |
| 市民アンケート「教室や体育館、設備などの教育環境が整っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 58.2 | 67.2 | ↗ |

※下げ幅を抑える指標

| 分野 | めざすまちの姿 | KPI/ まちづくり指標/ 成果指標 | 主観/ 客観 | 単位施策 | 指標名 |
|------------|--------------------------------------|--------------------------|-----------|---------------------------|---------------------------------------|
| 育み・学び | 多様性を尊重した学びの場が広がり、子どもたちが一人残らず心満たされるまち | 成果指標 2-2-2 | 主観 | 2-2 教育施設 | 教育環境が整っていると思う保護者の割合 |
| | | 成果指標 2-2-3 | 主観 | 2-2 教育施設 | 安心して子どもが給食を食べることができると思う保護者の割合 |
| | | 成果指標 2-3-1 | 主観 | 2-3 子どもの居場所づくり | 自分が安心して過ごせる居場所がある子どもの割合 |
| | | 成果指標 2-3-2 | 主観 | 2-3 子どもの居場所づくり | 祭りや子ども会など、地域の活動に参加している子どもの割合 |
| 支えあい | 戦略2 暮らしの安心 創生プロジェクト | KPI5 | 主観 | | 医療や介護の環境が整っており、誰もが安心して暮らせるまちだと思う市民の割合 |
| | | KPI6 | 主観 | | 人と人が寄り添い、つながりながら支えあうまちだと思う市民の割合 |
| | | KPI7 | 主観 | | 誰もが健康で楽しく活動できるまちだと思う市民の割合 |
| | 医療や介護の環境が整っており、誰もが安心して暮らせるまち | まちづくり指標 6 | 主観 | | 安心して医療機関を受診できる環境が整っていると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 7 | 主観 | | 介護が必要になったときに活用できるサービスを知っている市民の割合 |
| | | 成果指標 3-1-1 | 主観 | 3-1 健康保険 | ジェネリック医薬品の利用等により医療費削減に努めている市民の割合 |
| | | 成果指標 3-1-2 | 客観 | 3-1 健康保険 | マイナ保険証利用率(国民健康保険) |
| | | 成果指標 3-1-3 | 客観 | 3-1 健康保険 | マイナ保険証利用率(後期高齢者医療保険) |
| | | 成果指標 3-1-4 | 客観 | 3-1 健康保険 | 特定健診受診率(国民健康保険) |
| | | 成果指標 3-1-5 | 客観 | 3-1 健康保険 | 特定健診受診率(後期高齢者医療保険) |
| | | 成果指標 3-2-1 | 主観 | 3-2 福祉医療 | 医療費助成制度が充実していると思う市民の割合 |
| | 成果指標 3-3-1 | 客観 | 3-3 介護保険 | 介護施設・事業所の数 | |
| | 人と人が寄り添い、つながりながら支えあうまち | まちづくり指標 8 | 主観 | | 困ったときに相談できる人が身近にいる市民の割合 |
| まちづくり指標 9 | | 主観 | | 高齢者が地域で安心して暮らしていると思う人の割合 | |
| まちづくり指標 10 | | 主観 | | 障がい者が地域で安心して暮らしていると思う人の割合 | |

| 算出方法 | 単位 | 現状値 (2024年度) | めざそう値 (2031年度) | 方向性 |
|--|----|-----------------|-------------------|-----|
| 市民アンケートで中学生以下の子どもがいる方のうち、「教室や体育館、設備などの教育環境が整っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 56.5 | 67.1 | ↗ |
| 市民アンケートで小学生・中学生の子どもがいる方のうち、「安心して子どもが給食を食べることができる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 90.3 | 92.6 | ↗ |
| 子どもアンケート「家、学校、地域など安心して過ごせる居場所がありますか」で「ある」「どちらかというところ」と回答した子どもの割合 | % | 95.6 | 96.7 | ↗ |
| 子どもアンケート「祭りや子ども会など、地域の活動に参加していますか」で「参加している」「どちらかというところ」と回答した子どもの割合 | % | 70.4 | 77.8 | ↗ |
| 市民アンケート「医療や介護の環境が整っており、誰もが安心して暮らせるまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 73.2 | 79.6 | ↗ |
| 市民アンケート「人と人が寄り添い、つながりながら支えあうまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 52.7 | 58.3 | ↗ |
| 市民アンケート「誰もが健康で楽しく活動できるまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 61.7 | 66.3 | ↗ |
| 市民アンケート「安心して医療機関を受診できる環境が整っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 81.2 | 84.2 | ↗ |
| 市民アンケート「介護が必要になったときに活用できるサービスを知っている」と回答した市民の割合 | % | 44.5 | 58.0 | ↗ |
| 市民アンケート「ジェネリック医薬品の利用等により医療費削減に努めている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 75.0 | 79.0 | ↗ |
| 国民健康保険中央会データ | % | 31.0 | 65.0 | ↗ |
| 厚生労働省提供データ | % | 42.3 | 75.0 | ↗ |
| 案内を発送した件数のうち、健診に参加した実件数 | % | 40.8 | 52.5 | ↗ |
| 案内を発送した件数のうち、健診に参加した実件数 | % | 35.7 | 50.0 | ↗ |
| 市民アンケート「医療費助成制度が充実している」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 58.6 | 68.4 | ↗ |
| 市内介護事業所・施設の数(介護サービス情報公表システムに掲載している介護事業所・施設を参考) | か所 | 86 | 89 | ↗ |
| 市民アンケート「困った時に相談できる人が身近にいる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 63.8 | 68.2 | ↗ |
| 市民アンケート「高齢者が地域で安心して暮らしている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 66.3 | 71.7 | ↗ |
| 市民アンケート「障がい者が地域で安心して暮らしている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 55.4 | 62.4 | ↗ |

| 分野 | めざまちの姿 | KPI/ まちづくり指標/ 成果指標 | 主観/ 客観 | 単位施策 | 指標名 |
|---------------|-----------------------------|--------------------------|----------------------------------|------------------------|--|
| 支えあい | 4 人と人が寄り添い、つながりながら支えあうまち | まちづくり指標 11 | 客観 | | 要支援者の1年後の重症化率 |
| | | 成果指標 4-1-1 | 客観 | 4-1 | 高齢者福祉 介護予防事業の参加者数 |
| | | 成果指標 4-2-1 | 客観 | 4-2 | 障がい福祉 障がい福祉サービスの利用者数 |
| | | 成果指標 4-2-2 | 客観 | 4-2 | 障がい福祉 福祉施設から一般就労への移行者数 |
| | | 成果指標 4-3-1 | 客観 | 4-3 | 地域福祉 ゲートキーパー養成人数 |
| | | 成果指標 4-3-2 | 客観 | 4-3 | 地域福祉 生活保護受給者等の就労人数 |
| | 5 誰もが健康で楽しく活動できるまち | まちづくり指標 12 | 客観 | | 健康寿命(平均自立期間)男性 |
| | | まちづくり指標 13 | 客観 | | 健康寿命(平均自立期間)女性 |
| | | まちづくり指標 14 | 主観 | | 市内で学びたいことが学べる機会があると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 15 | 主観 | | 生きがいを持っている市民の割合 |
| | | 成果指標 5-1-1 | 主観 | 5-1 | 健康推進 健診や食事、たばこ、飲酒、運動等に関心を持ち、改善・増進に向けて取り組んでいる市民の割合 |
| | | 成果指標 5-1-2 | 客観 | 5-1 | 健康推進 がん検診受診率男性 |
| | | 成果指標 5-1-3 | 客観 | 5-1 | 健康推進 がん検診受診率女性 |
| | | 成果指標 5-2-1 | 客観 | 5-2 | 生涯学習・図書 とよあけ市民大学「ひまわり」の受講者数 |
| 成果指標 5-2-2 | | 客観 | 5-2 | 生涯学習・図書 公民館講座等の受講者数 | |
| 成果指標 5-2-3 | | 客観 | 5-2 | 生涯学習・図書 南部公民館稼働率 | |
| 成果指標 5-2-4 | 主観 | 5-2 | 生涯学習・図書 本を読むことが好きな市民の割合 | | |
| 成果指標 5-2-5 | 主観 | 5-2 | 生涯学習・図書 本を読むことが好きな子どもの割合 | | |
| 成果指標 5-3-1 | 主観 | 5-3 | 文化・スポーツ スポーツを楽しむことができて市民の割合 | | |
| 成果指標 5-3-2 | 主観 | 5-3 | 文化・スポーツ スポーツを楽しむことができて子どもの割合 | | |
| 成果指標 5-3-3 | 主観 | 5-3 | 文化・スポーツ 文化活動に親しむ機会があると思う市民の割合 | | |

| 算出方法 | 単位 | 現状値 (2024年度) | めざそう値 (2031年度) | 方向性 |
|---|----|-----------------|-------------------|-----|
| 国保データベース(KDB) | % | 23.8 | 25.2 | ↗※ |
| 1年間に介護予防事業に参加した延べ人数 | 人 | 36,177 | 37,200 | ↗ |
| 市町村単位におけるサービス利用状況(当該年度10月サービス提供分)のサービス利用者数(者・児の合計) | 人 | 794 | 1,200 | ↗ |
| 1年間に市内福祉施設から一般就労へ移行した延べ人数 ※障害者福祉計画 | 人 | 17 | 20 | ↗ |
| 1年間にゲートキーパー養成研修受講済みの延べ人数 ※地域福祉計画 | 人 | 270 | 1,000 | ↗ |
| 就労人数 | 人 | 26 | 35 | ↗ |
| 国保データベース(KDB) | 歳 | 82.0 | 84.0 | ↗ |
| 国保データベース(KDB) | 歳 | 85.5 | 86.6 | ↗ |
| 市民アンケート「市内で学びたいことが学べる機会がある」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 46.8 | 53.2 | ↗ |
| 市民アンケート「趣味や活動など生きがいを持っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 65.4 | 69.5 | ↗ |
| 市民アンケート「健診や食事、たばこ、飲酒、運動等に関心を持ち、改善・増進に向けて取り組んでいる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 66.8 | 70.8 | ↗ |
| 大腸がん検診受診率 | % | 27.9 | 31.0 | ↗ |
| 大腸がん検診受診率 | % | 24.9 | 28.5 | ↗ |
| 延べ参加者数 | 人 | 27,950 | 30,000 | ↗ |
| 延べ参加者数 | 人 | 481 | 550 | ↗ |
| 貸館稼働率 | % | 10.5 | 30.0 | ↗ |
| 市民アンケート「本を読むことが好きである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 54.1 | 59.7 | ↗ |
| 子どもアンケート「本を読むことが好きですか」で「思う」「どちらかというと思う」と回答した子どもの割合 | % | 71.0 | 78.3 | ↗ |
| 市民アンケート「スポーツを楽しむことができて」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 48.6 | 59.7 | ↗ |
| 子どもアンケート「運動やスポーツをすることが好きですか」で「好き」「どちらかという好き」と回答した子どもの割合 | % | 80.4 | 85.3 | ↗ |
| 市民アンケート「文化活動に親しむことができて」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 41.7 | 48.9 | ↗ |

※上げ幅を抑える指標

| 分野 | めざすまちの姿 | KPI/ まちづくり指標/ 成果指標 | 主観/ 客観 | 単位施策 | 指標名 | | |
|-------|-------------------------------|---------------------------------------|------------|------|--|---|----------------------------|
| 住みやすさ | 戦略3 安全で快適な地域環境 創生プロジェクト | KPI8 | 主観 | | お互いを尊重し、それぞれの個性や強みを活かしてつながりあえる安全安心なまちだと思ふ市民の割合 | | |
| | | KPI9 | 主観 | | 気軽に外出でき、生活しやすいきれいなまちだと思ふ市民の割合 | | |
| | | KPI10 | 主観 | | いつまでも住み続けられる、安全で快適なまちだと思ふ市民の割合 | | |
| | | KPI11 | 客観 | | 転入超過数 | | |
| | 6 | お互いを尊重し、それぞれの個性や強みを活かしてつながりあえる安全安心なまち | まちづくり指標 16 | 主観 | | 身近につながりがあると思ふ市民の割合 | |
| | | | まちづくり指標 17 | 主観 | | 日頃から地域や家庭で防災対策をしている市民の割合 | |
| | | | まちづくり指標 18 | 主観 | | 防犯対策(交通・街灯・防犯カメラ・地域の見守り等)が整っており、治安が良いと思ふ市民の割合 | |
| | | | 成果指標 6-1-1 | 主観 | 6-1 | 協働・参加・共創 | 地域に愛着をもち、地域の活動に参加している市民の割合 |
| | | | 成果指標 6-1-2 | 客観 | 6-1 | 協働・参加・共創 | カラット施設利用率 |
| | | | 成果指標 6-1-3 | 客観 | 6-1 | 協働・参加・共創 | 町内会の加入率 |
| | | | 成果指標 6-2-1 | 主観 | 6-2 | ダイバーシティ | 多様性について理解している市民の割合 |
| | | | 成果指標 6-3-1 | 主観 | 6-3 | 防災・強靱化 | 災害時に個人でできる備えを行っている市民の割合 |
| | | | 成果指標 6-3-2 | 客観 | 6-3 | 防災・強靱化 | 他自治体及び民間との災害に関する協定の数 |
| | | | 成果指標 6-3-3 | 客観 | 6-3 | 防災・強靱化 | 消防団充足率 |
| | | | 成果指標 6-4-1 | 客観 | 6-4 | 交通・防犯 | 犯罪発生件数 |
| | | | 成果指標 6-4-2 | 客観 | 6-4 | 交通・防犯 | 交通事故発生件数 |
| | 7 | 気軽に外出でき、生活しやすいきれいなまち | まちづくり指標 19 | 主観 | | 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと思う市民の割合 | |
| | | | まちづくり指標 20 | 客観 | | ごみのリサイクル率 | |
| | | | まちづくり指標 21 | 主観 | | 公共交通機関(名鉄バス、ひまわりバス、チョイソコとよあけ、タクシー)での市内移動がしやすいと思ふ市民の割合 | |

| 算出方法 | 単位 | 現状値 (2024年度) | めざす値 (2031年度) | 方向性 |
|---|----|-----------------|------------------|-----|
| 市民アンケート「お互いを尊重し、それぞれの個性や強みを活かしてつながりあえる安全安心なまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 58.0 | 64.8 | ↗ |
| 市民アンケート「気軽に外出でき、生活しやすいきれいなまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 78.9 | 83.8 | ↗ |
| 市民アンケート「いつまでも住み続けられる、安全で快適なまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 75.2 | 81.0 | ↗ |
| とよあけの統計(転入者数-転出者数) | 人 | -212 | +1800 | ↗ |
| 市民アンケート「あいさつや交流など近所の人とつながりがある」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 65.4 | 69.6 | → |
| 市民アンケート「日頃から地域や家庭で防災対策をしている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 55.9 | 63.0 | ↗ |
| 市民アンケート「防犯対策(交通・街灯・防犯カメラ・地域の見守り等)が整っており、治安が良い」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 49.0 | 57.2 | ↗ |
| 市民アンケート「地域に愛着をもち、地域の活動に参加している」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 40.2 | 47.5 | ↗ |
| カラット月次報告(貸館稼働率全体計)より | % | 50.4 | 56.0 | ↗ |
| 年度末報告事項「加入世帯数調査票」より | % | 69.9 | 69.9 | → |
| 市民アンケート「性別、国籍、人種、年齢、障がいの有無や価値観の違いなど、多様性について理解している」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 69.4 | 73.0 | ↗ |
| 市民アンケート「災害時に個人でできる備えを行っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 58.0 | 64.8 | ↗ |
| 延べ締結数 | 件 | 97 | 104 | ↗ |
| 条例定数に対する実団員数 | % | 76.0 | 85.0 | ↗ |
| 刑法犯認知件数、愛知県警察提供 | 件 | 409 | 324 | ↘ |
| 愛知県警察提供 | 件 | 195 | 182 | ↘ |
| 市民アンケート「暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 76.3 | 79.1 | ↗ |
| (資源(行政回収+集団回収+拠点回収)+プラスチック+粗大回収金属+使用済小型家電+破碎後資源物(家庭系分)+焼却後スラグ・メタル(家庭系分))/家庭系ごみ総量 | % | 27.8% | 29.5% | ↗ |
| 市民アンケート「公共交通(電車、バス、タクシー、チョイソコ)で、市内を移動する環境が整っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 52.7 | 64.2 | ↗ |

| 分野 | めざすまちの姿 | KPI/ まちづくり指標/ 成果指標 | 主観/ 客観 | 単位施策 | | 指標名 |
|------------|-----------------------|--------------------------|-----------|---------|---------------------|------------------------------|
| 住みやすさ | 気軽に外出でき、生活しやすいきれいなまち | 成果指標 7-1-1 | 主観 | 7-1 | 環境 | 省エネに取り組んでいる市民の割合 |
| | | 成果指標 7-1-2 | 客観 | 7-1 | 環境 | 温室効果ガス排出量削減率 |
| | | 成果指標 7-1-3 | 客観 | 7-1 | 環境 | 大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値 |
| | | | 客観 | | | |
| | | | 客観 | | | |
| | | 成果指標 7-2-1 | 主観 | 7-2 | ごみ | ごみの適正処理を心がけている市民の割合 |
| | | 成果指標 7-2-2 | 客観 | 7-2 | ごみ | 一人一日あたりの家庭から排出されるごみの量 |
| | | 成果指標 7-3-1 | 主観 | 7-3 | 公共交通 | 公共交通機関での市外への移動が便利だと思う市民の割合 |
| | | 成果指標 7-3-2 | 客観 | 7-3 | 公共交通 | ひまわりバスの利用者数 |
| | 成果指標 7-3-3 | 客観 | 7-3 | 公共交通 | チョイソコとよあけの利用者数 | |
| | いつまでも住み続けられる、安全で快適なまち | まちづくり指標 22 | 主観 | | | 便利で快適な住環境が整備されていると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 23 | 主観 | | | 身近に自然に親しむことができる場所があると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 24 | 主観 | | | 道路での移動がスムーズだと思う市民の割合 |
| | | 成果指標 8-1-1 | 主観 | 8-1 | 公園・緑地 | 市内の公園に魅力があると思う市民の割合 |
| | | 成果指標 8-1-2 | 客観 | 8-1 | 公園・緑地 | 墓園利用者数 |
| 成果指標 8-2-1 | | 主観 | 8-2 | 道路 | 道路の維持管理が良好だと思う市民の割合 | |
| 成果指標 8-2-2 | | 客観 | 8-2 | 道路 | 道路の整備率 | |
| 成果指標 8-3-1 | | 客観 | 8-3 | 土地利用・住宅 | 市街化区域内人口の割合 | |
| 成果指標 8-4-1 | | 客観 | 8-4 | 下水道 | 汚水管きょ耐震化率 | |
| 成果指標 8-4-2 | | 客観 | 8-4 | 下水道 | 経費回収率 | |
| 成果指標 8-5-1 | 客観 | 8-5 | 河川・ため池 | 調整池設置数 | | |

| 算出方法 | 単位 | 現状値 (2024年度) | めざす値 (2031年度) | 方向性 |
|--|-------------------|-----------------|------------------|-----|
| 市民アンケート「節電や節水など、省エネに取り組んでいる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 68.9 | 72.6 | ↗ |
| | % | 21.9 | 46.0 | ↗ |
| 二酸化窒素 | ppm | 0.008 | 0.008 | → |
| 浮遊粒子状物 | mg/m ³ | 0.013 | 0.013 | → |
| 光化学オキシダント | ppm | 0.033 | 0.023 | ↘ |
| 市民アンケート「ごみの分別やリサイクルなどに心がけている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 90.1 | 91.2 | ↗ |
| (可燃(一般・粗大)+不燃(一般・粗大)+直接搬入(可燃・剪定くず・不燃))/年間日数/10月1日時点の人口×1,000,000 | g/人・日 | 444 | 422 | ↘ |
| 市民アンケート「公共交通(電車、バス、タクシー)で、市外への移動が便利である」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 57.7 | 68.0 | ↗ |
| ひまわりバスの年間利用者数 | 人 | 171,166 | 181,500 | ↗ |
| チョイソコとよあけの年間利用者数 | 人 | 9,204 | 10,800 | ↗ |
| 市民アンケート「便利で快適な住環境が整備されている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 65.6 | 71.1 | ↗ |
| 市民アンケート「身近に自然に親しむことができる場所がある」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 71.3 | 75.9 | ↗ |
| 市民アンケート「道路での移動がスムーズである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 68.8 | 76.3 | ↗ |
| 市民アンケート「市内の公園に魅力がある」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 44.8 | 53.8 | ↗ |
| 勅使墓園の利用者数 | 人 | 3,111 | 3,095 | ↘※ |
| 市民アンケート「道路が適切に維持管理され、安全である」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 63.2 | 72.1 | ↗ |
| とよあけの統計「市道の状況(専用自歩道・歩行者道は除く)」の数値 | % | 90.0 | 93.5 | ↗ |
| 全人口に占める市街化区域内(居住や産業活動を促進する区域)に住んでいる人口の割合 | % | 76.5 | 77.1 | ↗ |
| (管路延長-未耐震管路延長)/管路延長 | % | 72.4 | 81.5 | ↗ |
| 下水道使用料/汚水処理費用 | % | 90.8 | 100 | ↗ |
| | か所 | 1 | 3 | ↗ |

※下げ幅を抑える指標

| 分野 | めざすまちの姿 | KPI/ まちづくり指標/ 成果指標 | 主観/ 客観 | 単位施策 | 指標名 | |
|-----|-------------------------------|---------------------------------|---------------|------|------------------------------------|--------------------------|
| 賑わい | 戦略4 ひとが集うまち 創生プロジェクト | KPI12 | 主観 | | 歴史や文化が受け継がれ、地元愛あふれ訪れたいと思う市民の割合 | |
| | | KPI13 | 主観 | | 自分らしく働く場所があり、産業が盛んな活気あるまちだと思う市民の割合 | |
| | 9 歴史や文化が受け継がれ、地元愛あふれ訪れたいまち | まちづくり指標 25 | 主観 | | 豊明市のことを大好きだと思う市民の割合 | |
| | | まちづくり指標 26 | 主観 | | 豊明市の魅力をオススメしたいと思う市民の割合 | |
| | | まちづくり指標 27 | 客観 | | 観光地点等入込客数 | |
| | | 成果指標 9-1-1 | 客観 | 9-1 | 観光 | 花マルシェ関連イベントの来場者数 |
| | | 成果指標 9-1-2 | 客観 | 9-1 | 観光 | ガイドボランティアのガイド実績人数 |
| | | 成果指標 9-2-1 | 主観 | 9-2 | 歴史・ 伝統文化 | 豊明の歴史・伝統文化について関心がある市民の割合 |
| | | 成果指標 9-2-2 | 客観 | 9-2 | 歴史・ 伝統文化 | ナガバノイシモチソウ一般公開来場者数 |
| | | 成果指標 9-2-3 | 客観 | 9-2 | 歴史・ 伝統文化 | 大狭間湿地一般公開来場者数 |
| | | 成果指標 9-2-4 | 客観 | 9-2 | 歴史・ 伝統文化 | 歴史民俗資料室来場者数 |
| | | 10 自分らしく働く場所があり、産業が盛んな活気あるまち | まちづくり指標 28 | 主観 | | 地域経済が活性化していると思う市民の割合 |
| | まちづくり指標 29 | | 客観 | | 農地が有効に耕作されている面積 | |
| | 成果指標 10-1-1 | | 客観 | 10-1 | 商工業 | 製造品出荷額等 |
| | 成果指標 10-1-2 | | 客観 | 10-1 | 商工業 | 商工会会員数 |
| | 成果指標 10-1-3 | | 客観 | 10-1 | 商工業 | 新規起業数 |
| | 成果指標 10-2-1 | | 客観 | 10-2 | 農業 | 新規就農者数 |
| | | 成果指標 10-2-2 | 客観 | 10-2 | 農業 | 豊明産農産物の産直所取扱数 |

| 算出方法 | 単位 | 現状値 (2024年度) | めざそう値 (2031年度) | 方向性 |
|--|----------------|-----------------|-------------------|-----|
| 市民アンケート「歴史や文化が受け継がれ、地元愛あふれ訪れたいまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 46.2 | 52.8 | ↗ |
| 市民アンケート「自分らしく働く場所があり、産業が盛んな活気あるまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 29.2 | 37.8 | ↗ |
| 市民アンケート「豊明市のことが大好きだ」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 75.3 | 78.3 | ↗ |
| 市民アンケート「豊明市の魅力をオススメしたい」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 48.1 | 54.1 | ↗ |
| 単位施策9-1、9-2の成果指標の合計+夏まつり、秋まつりの合計人数 | 人 | 61,821 | 90,520 | ↗ |
| とよあけ花マルシェが主催するイベントの来場者数の合計(単年度数値) | 人 | 1,393 | 2,550 | ↗ |
| とよあけ桶狭間ガイドボランティア実績報告数(単年度数値) | 人 | 5,087 | 10,000 | ↗ |
| 市民アンケート「豊明の歴史・伝統文化について関心がある」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 42.3 | 49.4 | ↗ |
| 受付でカウント | 人 | 586 | 620 | ↗ |
| 受付でカウント | 人 | 487 | 520 | ↗ |
| 受付でカウント | 人 | 4,268 | 4,830 | ↗ |
| 市民アンケート「地域経済が活性化している」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 27.5 | 36.4 | ↗ |
| 国の作物統計調査における面積調査「耕地及び作付面積統計」の耕地面積 | m ² | 461 | 440 | ↘※ |
| e-Stat(政府統計ポータルサイト)統計名「経済構造実態調査」対象年度)二次集計)地域別統計表より豊明市を抽出 | 万円 | 21,058,813 | 25,000,000 | ↗ |
| 年度末(3/31)時点の登録者数を商工会より聞き取り(単年度数値) | 社 | 1,150 | 1,220 | ↗ |
| 当該年度(4月1日～3月31日)の新規企業者(当該期間中に商工会が受付した件数)を商工会より聞き取り(単年度数値) | 者 | 23 | 25 | ↗ |
| 新規就農者の認定数(2024年度を基準とした数) | 人 | 6 | 20 | ↗ |
| JA豊明・東郷グリーンセンター(Love it TO ²)における豊明産直友の会会員の販売点数(レジを通過した点数) | 点 | 160,778 | 168,800 | ↗ |

※下げ幅を抑える指標

| 分野 | めざすまちの姿 | KPI/ まちづくり指標/ 成果指標 | 主観/ 客観 | 単位施策 | 指標名 |
|---------------|------------------------------|--------------------------|-----------|----------------------------------|--|
| 行政推進項目 | 市民サービスを向上する | まちづくり指標 30 | 主観 | | 市職員の対応が丁寧で、説明が分かりやすいと思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 31 | 主観 | | オンラインや窓口で行政手続き等を するとき、手続き等がスムーズにでき ると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 32 | 客観 | | オンライン(電子申請届出システム) の利用件数 |
| | 情報収集と発信を 積極的に行う | まちづくり指標 33 | 主観 | | 市からの情報が足りていると思う市 民の割合 |
| | | まちづくり指標 34 | 主観 | | 市民の意見が市に届き、市政に反映 されていると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 35 | 客観 | | ホームページアクセス件数(年間) |
| | | まちづくり指標 36 | 客観 | | SNS閲覧登録者数 |
| | 効果的・効率的な 行政運営を行う | まちづくり指標 37 | 主観 | | 行政は効果的・効率的な行政運営を 行っていると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 38 | 主観 | | 地域や企業、大学など多様な主体と 連携しながらまちづくりを進めている と思う職員の割合 |
| | | まちづくり指標 39 | 主観 | | PDCAサイクルが実践されていると 思う職員の割合 |
| | | まちづくり指標 40 | 主観 | | 公共施設が適切に維持管理されてい ると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 41 | 主観 | | 公共施設が適切に維持管理されてい ると思う職員の割合 |
| | | まちづくり指標 42 | 客観 | | 公共施設などの整備・運営に係る官 民連携件数 |
| | 健全な財政運営を 行う | まちづくり指標 43 | 主観 | | 行政が税金の使い方について説明責 任を果たしていると思う市民の割合 |
| | | まちづくり指標 44 | 客観 | | 財政力指数 |
| | | まちづくり指標 45 | 客観 | | 経常収支比率 |
| | | まちづくり指標 46 | 客観 | | 実質公債費比率 |
| | | まちづくり指標 47 | 客観 | | 将来負担比率 |
| | 働きやすい環境づ くりと人材育成を 推進する | まちづくり指標 48 | 主観 | | 市民ニーズに対して、知識や能力習 得の機会が十分であると思う職員の 割合 |
| まちづくり指標 49 | | 主観 | | 市長・市職員の政策立案能力が高 まっていると思う市民の割合 | |

| 算出方法 | 単位 | 現状値 (2024年度) | めざそう値 (2031年度) | 方向性 |
|---|----|-----------------|-------------------|-----|
| 市民アンケート「市職員の対応が丁寧で、説明が分かりやすい」で「 そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 73.3 | 76.4 | ↗ |
| 市民アンケート「オンラインや窓口で行政手続きをするとき、手続き 等がスムーズにできる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と 回答した市民の割合 | % | 64.4 | 68.6 | ↗ |
| 1年間にオンラインで手続きされた件数の合計 | 件 | 9,974 | 18,900 | ↗ |
| 市民アンケート「市からの情報が十分に届いている」で「そう思う」「ど ちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 55.3 | 60.6 | ↗ |
| 市民アンケート「市民の意見が市に届き、市政に反映されている」で 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 36.7 | 51.8 | ↗ |
| サイト全体のアクセス件数 | 件 | 2,630,211 | 2,800,000 | ↗ |
| LINE友だち数、Instagram、X、Facebookフォロワー数 | 人 | 7,230 | 15,000 | ↗ |
| 市民アンケート「行政は効果的・効率的な行政運営を行っている」で 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 44.5 | 51.0 | ↗ |
| 職員アンケート「多様な主体と連携しながらまちづくりを進めている と思いますか」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した 職員の割合 | % | 89.5 | 90.8 | ↗ |
| 職員アンケート「PDCAサイクルが実践されていると思いますか」で 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した職員の割合 | % | 80.5 | 82.9 | ↗ |
| 市民アンケート「公共施設が適切に維持管理されている」で「そう思 う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 59.6 | 69.0 | ↗ |
| 職員アンケート「公共施設が適切に維持管理されていると思います か」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した職員の割合 | % | 71.6 | 78.7 | ↗ |
| PPPIにより整備・運営された公共施設件数/累計 | 件 | 99 | 135 | ↗ |
| 市民アンケート「行政が税金の使い方について説明責任を果たしてい る」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 42.9 | 56.3 | ↗ |
| 決算資料 | | 0.83 | 0.80以上 | → |
| 決算資料 | % | 91.0 | 90%以下 | → |
| 決算資料 | % | 1.2 | 9%以下 | → |
| 決算資料 | % | -59.2 | 0%以下 | → |
| 職員アンケート「市民ニーズに対して、知識や能力習得の機会が十分 であると思いますか」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回 答した職員の割合 | % | 73.7 | 77.0 | ↗ |
| 市民アンケート「市長・市職員の政策立案能力が高まっている」で「そ う思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 41.5 | 48.4 | ↗ |

| 分野 | めざすまちの姿 | KPI/ まちづくり指標/ 成果指標 | 主観/ 客観 | 単位施策 | 指標名 |
|--------|----------------------|--------------------------|-----------|------|--------------------------|
| 行政推進項目 | 働きやすい環境づくりと人材育成を推進する | まちづくり指標 50 | 客観 | | 年次有給休暇の平均取得日数 |
| | | まちづくり指標 51 | 主観 | | 議会の情報が十分に得られていると思う市民の割合 |
| | 公正な行政運営を保つ | まちづくり指標 52 | 主観 | | 議員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合 |

| 算出方法 | 単位 | 現状値 (2024年度) | めざそう値 (2031年度) | 方向性 |
|--|----|-----------------|-------------------|-----|
| 職員一人あたりの1年間の年次有給休暇の取得日数 | 日 | 15.6 | 16.0 | ↗ |
| 市民アンケート「議会の情報が十分に得られている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 35.0 | 42.8 | ↗ |
| 市民アンケート「議員の政策立案能力が高まっている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 | % | 30.5 | 38.7 | ↗ |



5 | 策定における市民参画

1. 市民意識調査

市内にお住まいの16歳以上の方の中から、無作為に3,000人を対象に、現在のまちづくりの課題やまちづくりを進めていく上での意見を伺い、計画策定に役立てるためのアンケート調査を実施しました。

| | |
|------|---|
| 調査方法 | 郵送による調査票の配布、郵送による回収またはインターネットによる回答 |
| 調査期間 | 2024年5月28日～6月21日 |
| 回収状況 | 配布数 3,000票、有効回収数 1,317票、有効回収率 43.9% |
| 調査項目 | ・豊明市の住み心地や今後の居住について ・豊明市の施策の満足度・今後の重要度について ・豊明市の将来のまちづくりについて など |

2. 総合計画に対するご意見・ご提言募集

市民意識調査の対象とならなかった方からも、今後の豊明市について幅広く意見を伺うため、多様な媒体を通じて意見を募集しました。

| | |
|------|----------------------------------|
| 調査方法 | インターネット回答、持参、郵送、E-mail、FAX |
| 調査期間 | 2024年6月3日～6月21日 |
| 意見数 | 13件 |
| 調査項目 | ・豊明市の魅力・欠点について ・豊明市のまちづくりについて |

3. 転出者アンケート

2023年度の1年間に本市から転出された方のうち、無作為に抽出した2,000人を対象に実施し、転出のきっかけや理由などを伺う、計画策定に役立てるためのアンケート調査を実施しました。

| | |
|------|---|
| 調査方法 | 郵送による調査票の配布、インターネットによる回答 |
| 調査期間 | 2024年6月7日～7月1日 |
| 回収状況 | 配布数 2,000票、有効回収数 368票、有効回収率 18.4% |
| 調査項目 | ・豊明市の良かったところ、悪かったところについて ・転出のきっかけや理由 ・転出先に引っ越した決め手 など |

4. 子育て世代インタビュー

子育て世代の移住・定住等の促進に向けた施策等を検討し、計画に反映するためグループインタビューを実施しました。カラット交換市の際には、市若手職員も参加し、市民の皆さまの生の声を直接聞き取りました。



| 調査日 | 調査場所 | 調査対象 | 回答数 |
|--------------|------------------|------------|---------|
| 2024年5月8日 | 豊明市共生交流プラザ「カラット」 | カラット交換市 | 29名 |
| 2024年5月19日 | | 環境フェスタとよあけ | 11名 |
| 2024年6月3日・4日 | 保健センター | 乳幼児健診 | 22名 |
| | | | (合計62名) |

| | |
|------|---|
| 調査項目 | ・豊明市のイメージ、印象 ・豊明市は子育てがしやすいまちだと思うかどうか ・子育てをしている中で感じること、気になること など |
|------|---|

5. 市民活動団体インタビュー

計画推進の一翼を担っていただいている子育て・福祉、多文化共生、産業・観光、環境、食・農など各分野の団体・グループを対象にインタビュー調査を実施しました。



| | |
|------|--|
| 調査期間 | 2024年5月13日～5月20日 |
| 調査対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会 ・豊明市スポーツ協会 ・豊明エコキッズ ・歴史民俗資料館調査研究会 ・豊明市農業委員会 ・認定NPO法人プラス・エデュケート ・JAあいち尾東豊明たすけあい けやきの会 ・ママコアラ ・豊明市国際交流協会 ・豊明市文化協会 ・豊明市肢体不自由児者父母兄弟の会 ・スマイルクラブ ・自主保育サークル まんまる ・ベトナムTOYOAKE ・パステル ・区長連合会 ・藤田医科大学防災教育センター ・桶狭間ガイドボランティア ・豊明団地自治会 ・豊明市手をつなぐ育成会 ・傾聴ボランティア「とよあけ」 ・NPO おたがいさまの家いっぱく ・豊明市商工会 青年部 ・主任児童委員 (合計23団体) |
| 調査項目 | ・活動において、上手くいっていることや課題について ・今後の活動意向及び協働・共創について ・豊明市の魅力や特色、課題、将来のありたい姿について など |

6.中学生インタビュー

大人だけではなく、これからの将来を担う市内3中学校の生徒に直接意見を伺い、意見を計画に反映するためグループインタビューを実施しました。

| 学校名 | 調査日 | 対象者 |
|-------|------------|-------|
| 豊明中学校 | 2024年6月18日 | 生徒会6名 |
| 栄中学校 | 2024年6月27日 | 生徒会4名 |
| 沓掛中学校 | 2024年7月19日 | 生徒会6名 |

| 調査項目 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・豊明市のおすすめしたいところ(強み・魅力・自慢) ・豊明市のおすすめしないところ(弱み・問題点・悩み) ・将来の豊明市の理想の姿 など |



豊明中学校



栄中学校



沓掛中学校

7.大学生インタビュー・アンケート

市内にある大学に通う大学生を対象としてインタビュー及びアンケートを実施しました。

| 大学名 | 調査期間 | 方法 | 対象者 |
|---------|----------------------|----------|--------------------------|
| 名古屋短期大学 | 2024年6月17日 | インタビュー | 多文化社会論 受講生20名 |
| 藤田医科大学 | 2024年8月16日 ～9月20日 | WEBアンケート | 6名/ボランティア センター登録者600名 |

| 調査項目 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・将来どんなまちに住みたいか ・「外国人が暮らしやすい環境」にどのような言葉(キーワード)がふさわしいと思うか。(名古屋短期大学のみ) など |



6月17日 会場:名古屋短期大学

8.高校生ワークショップ

将来を担う高校生に「どんなまちになれば豊明市に住みたいか・住み続けたいか」、イメージ・キーワードを中心に意見を出し合っていただくため、市内にある高校の生徒を対象としたワークショップを開催しました。



| | 調査日 | 対象者 |
|---------|------------|-----------------|
| 第1回 | 2024年5月31日 | 豊明高校 |
| 第1回 | 2024年6月 6日 | 星城高校 |
| 第2回(合同) | 2024年7月13日 | 豊明高校、星城高校 生徒18名 |

| 内容 |
|---|
| グループワーク①「豊明市のいいところ、悪いところ」 グループワーク②「自分が大人になったとき、どんなまちだったら住み続けたいか」 |



7月13日 会場:カラット

9.総合計画審議会意見交換会

第2回総合計画審議会終了後、委員の皆さまに市が実施する施策などについて意見交換を行っていただきました。

| | |
|-----|---|
| 実施日 | 2024年7月31日 |
| 対象者 | 総合計画審議会委員出席者14名 |
| 内容 | 4つのテーマ(健康福祉、地域・市民生活、教育・歴史文化、都市基盤・産業)ごとの、「よくできた点」や「もう少し頑張るべき点」について |



10.とよあけ未来カイギ

豊明市のまちづくりを考えていただく機会として、市民の皆さまと豊明市の「まちの未来像」や「めざすまちの姿」などについて意見交換をすることを目的として、全3回開催しました。また、参加者の皆さまからの意見に対する計画への反映状況や今後の進行管理について報告するとともに、まちの未来像を実現するためのアイデアを出し合い、まちづくりの機運を高める場としてアフタートークを開催しました。

| | 実施日 | 内容 | 参加者数 |
|---------|-------------|---|------|
| 第1回 | 2024年 9月14日 | ワールドカフェ「まちづくりの評価をしよう！」 | 23名 |
| 第2回 | 2024年10月19日 | グループワーク① 「まちの未来像を考えよう！」 グループワーク② 「子育て・子育て分野のめざすまちの姿を考えよう！」 グループワーク③ 「支えあい分野のめざすまちの姿を考えよう！」 | 19名 |
| 第3回 | 2024年11月 9日 | グループワーク① 「住みやすさ分野のめざすまちの姿を考えよう！」 グループワーク② 「賑わい分野のめざすまちの姿を考えよう！」 「私のまちづくり宣言」 | 22名 |
| アフタートーク | 2025年 8月 2日 | 第6次豊明市総合計画の概要説明 アフタートーク 「まちの未来像の実現に向けて、できることを考えよう！」 | 22名 |

| | |
|-----|--|
| 対象者 | 市民意識調査対象者のうち、参加希望者 市民活動団体インタビューを実施した団体のうち、参加希望者 |
|-----|--|



11.現状値調査

まちづくりの進捗状況を確認するため、本計画に設定する重要業績評価指標(KPI)、まちづくり指標、成果指標について、基準値となる2024年度実績値の取得のため市民意識調査、児童生徒アンケート、職員アンケートを実施しました。

【市民意識調査】

| | |
|------|-------------------------------------|
| 調査対象 | 市内にお住まいの16歳以上の方の中から、無作為に3,000人を抽出 |
| 調査方法 | 郵送による調査票の配布、郵送による回収またはインターネットによる回答 |
| 調査期間 | 2025年5月1日～5月23日 |
| 回収状況 | 配布数 3,000票、有効回収数 1,698票、有効回収率 56.6% |

【児童生徒アンケート】

| | |
|------|-------------------------------------|
| 調査対象 | 市内の小学5年生(591人)及び中学2年生(590人) |
| 調査方法 | 学校を通じてインターネット回答 |
| 調査期間 | 2025年5月12日～5月23日 |
| 回収状況 | 配布数 1,181票、有効回収数 1,060票、有効回収率 89.8% |

【職員アンケート】

| | |
|------|---------------------------------|
| 調査対象 | 豊明市職員393人 |
| 調査方法 | インターネット回答 |
| 調査期間 | 2025年5月7日～5月21日 |
| 回収状況 | 配布数 393票、有効回収数 380票、有効回収率 96.7% |

12.パブリックコメント

第6次豊明市総合計画素案に対し、広く市民の意見を聴くためにパブリックコメントを実施しました。

| | |
|------|------------------|
| 調査期間 | 2025年8月18日～9月19日 |
| 意見数 | 11件 |

13.フォト・イラストコンテスト

計画の策定に合わせて、皆さまの笑顔の写真や、さまざまな活動に一生懸命に取り組む姿、風景・歴史や文化、イベントなど、未来に残したいと思う写真やイラストを募集しました。

| | |
|-------|-------------------|
| 募集期間 | 2025年8月18日～11月28日 |
| 募集テーマ | あなたが好きな豊明市の風景 |
| 応募数 | 25点 |

1. 豊明市総合計画条例

平成25年3月28日
条例第4号

(目的)

第1条 この条例は、総合計画の定義、構成、位置付けその他総合計画の策定等に関し必要な事項を定め、もって総合的かつ計画的な市政運営を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 総合的かつ計画的な市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針をいう。
- (2) 基本構想 市のまちづくりの基本的な理念であり、まちの未来像及び基本目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 市の基本的な計画であり、基本目標を踏まえた施策の基本的方向及び体系を示すものをいう。
- (4) 実施計画 市の基本的な計画であり、基本計画で定められた施策をどのように実施していくかを具体的に示すものをいう。

(構成)

第3条 総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画で構成する。

(位置付け)

第4条 総合計画は、全ての施策を網羅した市の最上位計画と位置付ける。

- 2 各行政分野に関する計画を策定し、又は変更するときは、総合計画との調整を図らなければならない。

(総合計画審議会)

第5条 市長の諮問に応じ、総合計画について調査審議するため、豊明市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

- 2 審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(議会の議決)

第6条 市長は、基本構想を策定し、又は変更するときは議会の議決を経なければならない。

(公表)

第7条 市長は、総合計画を策定し、又は変更したときは、すみやかにこれを公表するものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(廃止規定)

2 豊明市総合計画審議会条例(昭和47年豊明市条例第18号)は、廃止する。

2. 審議会委員名簿

(敬称略)

| 団体名 | 氏名 | 備考 |
|---------------------|----------------|-----|
| 豊明市教育委員会 | 八尋 久美子(長山 加代子) | |
| 豊明市農業委員会 | 近藤 明 | |
| 豊明市区長連合会 | 柴田 初美(丹羽 秀行) | |
| あいち尾東農業協同組合 | 服部 力 | |
| 豊明市商工会 | 松本 昇 | 副会長 |
| 学校法人桜花学園(名古屋短期大学) | 新沼 英明 | 会長 |
| 学校法人藤田学園 | 石原 慎 | |
| 学校法人名古屋石田学園 | 石田 泰城 | |
| 独立行政法人都市再生機構 中部支社 | 永當 恵三(佐藤 浩一) | |
| 豊明市中心身障害者(児)福祉団体連合会 | 尾崎 芳美 | |
| 豊明市民生児童委員協議会 | 近藤 俊秀 | |
| 豊明市社会福祉協議会 | 加藤 誠 | |
| 豊明市国際交流協会 | 山田 善彦 | |
| 名古屋鉄道株式会社 | 太田 里奈(安藤 直樹) | |
| 連合愛知尾張東地域協議会 | 佐藤 元紀 | |
| 市民公募 | 岡 裕香 | |
| 市民公募 | 中野 憲一 | |
| 市民公募 | 古川 幸子 | |

()は前任者

3. 諮問書

豊明市総合計画審議会
会長様

豊企第16号
令和6年2月5日

豊明市長 小 浮 正 典

第6次豊明市総合計画について(諮問)

豊明市総合計画条例第5条に基づき、第6次豊明市総合計画について、貴審議会の意見を求めます。

公正な行政運営を保つ



まちづくり指標

| 指標名 | 現状値 (2024年度) | めざそう値 (2031年度) |
|--------------------------|-----------------|-------------------|
| 議会の情報が十分に得られていると思う市民の割合 | 35.0% | 42.8% |
| 議員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合 | 30.5% | 38.7% |

現状と課題

議会と監査委員には、公正な行政運営がなされているかなど執行の監視を担う役割があります。

議会や委員会の様子は議会だよりの配布やホームページでの公表に加え、YouTubeなどの配信により議会活動を発信しています。市民に分かりやすく議会活動に興味を持ってもらえるような、情報の発信方法を検討する必要があります。

議員一人ひとりの職務遂行能力向上のため、政務活動費を活用して視察や研修に参加し、得た知識を議会活動の中で活かすことができる環境の整備、情報の提供が求められています。

監査委員は、市の予算執行や契約などの財務に関する事務を中心に行財政運営の適法性、効率性などを市民の視点でチェックする定例監査や例月出納検査などの各種監査を実施しています。

基本方針

議会に関する情報をさまざまな媒体やイベントを通じて情報を発信し、市民の声を聴く機会を増やします。議会においては、市民の声を反映しながら適切な議論が行えるよう環境整備、情報の提供を行います。

また、議会と議会事務局間での情報共有のための会議システムなどを導入し、コミュニケーションを円滑化します。

監査委員は監査指摘を起点として、事務執行の適正化及び業務改善を行うことができるよう、各種監査を定期的・適切に実施します。